

ご来園の皆様の感染防止のために



京都府立植物園の観覧温室は、6月1日(月曜)より開室しています。

しかしながら、未だ予断を許さない厳しい現状もあり、ご来園の皆様に対して感染防止の要請と園内の規制対策を行っていますので、ご理解ご協力いただき「憩いの場」としてご利用ください。
また、各種ガイド案内・講演会・講習会等の植物園主催行事は当面中止させていただきます。

【ご来園前のお願い】

- ◆ご来園前に、検温等を行ってください。
- ◆2週間以内に感染が拡大している国への訪問歴がある方はご入園をお断りします。

【ご入園時のお願い】

- ◆入園門では、サーモグラフィー等にて体温確認させていただきます。
- ◆発熱、咳、咽頭痛などの症状がある方はご入園をお断りします。
- ◆ご入園の際は、マスク等の着用をお願いします。

【ご入園後のお願い】

- ◆マスク等の着用、手洗い・手指の消毒をお願いします。
- ◆人の密集が想定される次のエリア等を一部封鎖しています。
 - ・未来くん広場(遊具、きのこ文庫)
- ◆人の密集を避けるため、テーブルやイスを撤去しています。
 - ・ばら園、植物園会館等

「植物園オンライン・ミニミニミニガイド」

「土曜ミニミニガイド」のオンライン短縮版です。



技術課職員が植物解説!



「おうちでお花見」

「週刊オススメ植物情報」の代替版です。



スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



⑫ サイコトリア ペピギアナ

アカネ科。中南米原産。開花期に唇のような形をした苞(ほう)が赤く色づき、花粉を運ぶハチドリなどを引きつける。開花すると口紅を塗った唇が小さな花をくわえているように見え、その姿が別名「ホット・リップス(熱い唇)」のゆえん。

⑪ デルフィニウム

キンポウゲ科。原種は北半球の温帯地域を中心に200種あまりが分布。つぼみの形がイルカに似ていることから、ギリシャ語で「イルカ」を意味するDelphisが名前の由来。花びらの青い色素はデルフィニンと呼ばれる。

⑩ バナナ

バショウ科。マレー半島原産。葉が40枚前後出た後、赤紫色の花房が形成される。花房は垂れ下がり、最初の10段程度は子房が発達する雌花群で、その後も開花は続くが、中性花または雄性花で子房は発達せず、実らない。

⑨ ハナショウブ

アヤメ科。日本や朝鮮半島、中国東北部、シベリア東部に分布。江戸時代に東北地方に自生している野生種の変異株をもとに選抜・改良がなされた。「江戸系」「肥後系」「伊勢系」など、育成地ごとに草姿・花型に特徴がある。

① アジサイ

アジサイ科。原種は日本に自生するガクアジサイ。花卉のように見えるのは萼片(がくへん)で青系から紫、赤まで多様な色の品種がある。花色は土壌のpH値などに大きく左右され、アルカリでは赤色に、酸性では青色になる傾向がある。

② アリウム ギガンテウム

ヒガンバナ科。中央アジア原産。アリウムには約700種の野生種があり、タマネギ、ニンニク、ラッキョは同じネギ属の仲間になる。小花を球状に密生させ、直径約20cmの花序をつくる。大型種の代表。

③ キリンソウ

ベンケイソウ科。日本の山地から千島、カムチャッカ、シベリアなどに分布。和名の「黄輪草」は、黄色の花が集まって咲く様子を例えたもの。他に中国に伝わる想像上の生き物「麒麟」にちなむという説もある。

④ ガウラ

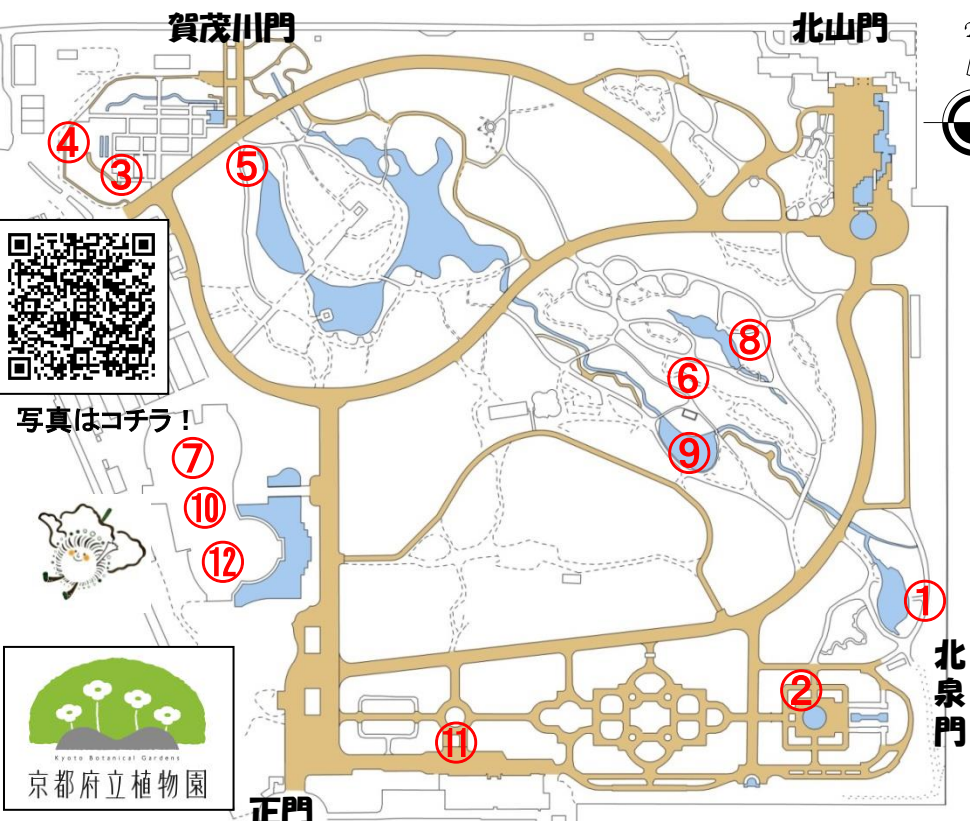
アカバナ科。北アメリカ原産。和名は淡桃色の花から山桃草(ヤマモモソウ)。花の形や色に由来し、白蝶草(ハクチョウソウ)との別名もある。ガウラはギリシア語の「堂々たる」、「華麗な」を意味するgaurosに由来し、美しい花にちなむ。

⑤ バイカモ

キンポウゲ科。直径1.5cmほどのウメに似た花を咲かせ水中に生えることから「梅花藻」と名が付いた。北海道から本州にかけて分布。南限である近畿地方では、現在、滋賀県と兵庫県で自生が確認されているが、京都府では既に絶滅。

⑥ ハナイカダ

ハナイカダ科。日本各地と中国に分布。雌雄異株(雌雄の株が異なる)。葉の上に花が咲き、果実が実ることが特徴。葉の上に乗っている花や果実の姿を筏(いかだ)乗りに見立ててその名が付いた。果実は黒く熟す。



写真はコチラ!



⑧ オオバウマノスズクサ

ウマノスズクサ科。関東地方以西の太平洋岸暖地に自生。近縁種のウマノスズクサが無毛であるのに対し、本種は若い茎葉に軟毛がある。名前は中国名に由来し、果実が馬に付ける鈴の形に似ることになむ。

⑦ ホウガンノキ

サガリバナ科。南米原産。果実が砲丸に似ていることが和名の由来。温室内では結実が困難なため、当園では職員が人工授粉を行っている。雄しべは虫をおびき寄せるためだけの花粉の出ないものと短い花粉の出るものと2種類ある。